

NGUDO com

NGU Alumni Association

第 18 号
2006.10

いよいよカウントダウン 名古屋キャンパス 2007.4開設へ!

白鳥・日比野
学舎周辺マップ

▲ P3

OB's NOW

活躍する同窓生 職場紹介

品野台カントリークラブ

▲ P7

クラブ&サークル、
ゼミナール短信

▲ P6

11月5日(日)
第15回ホームカミングデーの
ご案内

▲ P5



日経BPムック 「変革する大学シリーズ」より 名古屋学院大学 2006-2007年版が出版!!

日経BP企画が発行する「変革する大学シリーズ」から、名古屋学院大学 2006-2007年版が10月27日に発行されます。

「変革する大学シリーズ」は、大学のトップインタビューをはじめ、対談、レポート、データなどを駆使して、その大学の考え方や特徴、個性など“頼れる大学の実力度”をわかりやすくビジュアル豊富に描き出すものとして定評があります。今回、我が母校はこのシリーズにラインナップされたことで、全国的に注目される大学の一翼に入ったと言えるでしょう。



ここでは、松原武久 名古屋市長と伊藤信義 名古屋学院大学理事長の誌面对談の中から抜粋し、掲載いたします。対談の全文は、この本を購入の上、ゆっくりとご精読ください。

※お買い求めは名古屋市内の大型書店にて。

日経BPムック「変革する大学シリーズ」
名古屋学院大学 2006-2007年版
2006年10月27日発行 定価 1,200円

▶主なコンテンツ

- Part1 オリジナリティあふれる教育システム
- Part2 加速する学部改革
- Part3 実績ある地域貢献・社会貢献
- Part4 充実のキャリア支援プログラム

HOT NEWS

—2007年4月、名古屋学院大学は、これまでの瀬戸市から名古屋市熱田区にキャンパスが移転します。現在建設中の名古屋キャンパスについて、まづうかがいます。

伊藤理事長（以下伊藤） 施設は2カ所にあります、どちらも熱田区です。1つは地下鉄名港線日比野駅のすぐ上にある日比野学舎、もう1

つが堀川を挟んで熱田神宮公園の向かいにある白鳥学舎です。白鳥学舎はちょうど、名古屋国際会議場と白鳥庭園の間に位置します。都心でありながら自然環境に恵まれた絶好の場所だと思えます。

松原市長（以下松原） 白鳥学舎の場所は、もと堀川に面した貯木場だったところです。

そこを名古屋市がデザイン博覧会の会場に使い、その跡地に国際会議場と白鳥公園をつくりました。名古屋学院大学を誘致した場所は、その跡地の空いていた土地にあたります。

伊藤 瀬戸キャンパスの4つの学部のうち、経済学部、商学部、外国語学部の3つが名古屋キャンパスへ移ります。学生の数は約4千人、それ

に加えて大学院生、教職員、合わせて約3百人も移ることになります。松原 大移動ですね。入試や入学式はどうなりますか。

伊藤 入試は日比野、白鳥両学舎で行うことができますが、入学式は国際会議場を使用します。新入生は約1千人ですが、入学式となると、



親御さんが来られるのでおよそ倍、2千人を収容できないと無理なものですから。

松原 若い人が4千人、一気に増えるわけですから、活気も生まれるでしょうし、街の印象も変わるでしょうね。

伊藤 ええ、その効果は市にも大学にも大きいと思います。これまでの瀬戸キャンパスには、06年に新設した人間健康学部が残ります。人間健康学部は、健康や福祉の専門家を育てることを目的とした学部で、人間健康学科とリハビリテーション学科の2学科からなります。健康をうたっていることもあり、瀬戸が適切な環境と思います。

実学環境と人材を求めて都心へ回帰

― 郊外から都心へ移転する理由や目的はなんでしょう。

松原武久

名古屋市長

対談

伊藤信義

名古屋学院大学理事長

大学と都市の新しい関係

― 都心回帰で始まる名古屋学院大学の挑戦 ―

“都市と大学の関係をもう一度見つめ直してみよう”。

くしくも、旧来のつきあいがある関係で実現した名古屋学院大学理事長と名古屋市長の対談。都心に戻ることにした名古屋学院大学と都市活性化を模索する自治体それぞれのトップが考える大学と街のかかわり方、学生と市民とのコミュニケーション、知的財産としての大学の活用などを、忌憚なく話し合った。大学と都市の発展的関係を探る。

伊藤 大きなものとして3つあげられます。全国どこも同じでしょうが、一番大きいのは少子化問題です。子どもの数が減り、07年には大学全入時代に入ります。一方、大学は国公立私立も含めて、学部学科が増えています。個性や特長を出して魅力ある大学にしたいか、いと、生き残れないわけです。大学側はただ学生が入ってくるのを待っているわけにはいけません。特に地方の私立大学は深刻です。

松原 やはり名古屋市内、とくに熱田あたりだと利便性も良く、学生に対するセールスポイントとしても有利でしょう。瀬戸のキャンパスは、環境は抜群でしょうが、名古屋市内から電車・バスで1時間以上かかるとなると、ちよつと若い人は考えてしまうでしょうね。

伊藤 2つめの理由はそこなのです。今は勉強だけの時代ではありません。大学生は、アルバイトも遊びもしたいし、今は教室の中の勉強だけでは実社会で通用しない。つまり、実学といっています。目で見て体験することも含めて勉強だと。それにはできるだけ変化に富んだ環境が望ましいと考えています。都心のキャンパスなら、その点にアドバンテージがあります。

3つめは、名古屋学院大学がもつと飛躍しなくてはいけないということです。やはり改革には新しい人材や行動が必要ですし、そのためには環境も重要になってきます。結局、良い人材が良い大学をつくるわけです。

松原 かつて都心から郊外へ郊外へと大学が移つていった時代背景には、将来人口が増え続けるだろうという予測があったわけです。学生が増えれば、体育実習の場所や、キャンパスや研究施設に広い場所が必要です。その結果、大学を都会から追い出すような形になっていった。しかし、先ほどの少子化問題のように、子どもや若い人が減り始めた。その若者たちがさらに都会

からいなくなるとうなるか。そういうデメリットはあるわけです。

伊藤 そうですね。若者が増えるだけで、街は変わります。お店やいろいろな施設などの環境や雰囲気が変わるし、活気が出ます。大切なのは街と学生が良い形で共存していくことです。

松原 京都などがそうですね。街の人が学生を大切にできる風が昔からある。郊外型の大学だとなかなか街の人と触れあう機会も少ないんじゃないかな。現にキャンパス移転が決まっています。みんな手ぐすね引いて待っていますよ(笑)。

伊藤 大学ももう郊外で孤立してはやっていけない時代です。一般社会に入っていく、社会や地域に必要な存在でなければいけないのです。(以下略)



名古屋キャンパス開設について

— 移転および授業、クラブ活動について —



こじま ひろし
学長 小嶋 博



名古屋キャンパスイメージ図 白鳥学舎



名古屋キャンパスイメージ図 日比野学舎

FEATURE

名古屋学院大学は42年前、敬神愛人を建学の精神として掲げ、経済学部のみ単学部大学として開学しましたが、今年4月に人間健康学部を開設し、4学部、2大学院研究科、1留学生別科を持ち収容定員4,800人の大学に成長しました。教育の中心においても、既存学部では、2006年度から新カリキュラムを実行し学生諸君が満足できるよりよい教育を目指しています。また、2007年4月には日比野・白鳥の両校舎からなる名古屋キャンパスが開設され、名古屋学院大学は都心を中心とした名古屋キャンパスと環境に恵まれた瀬戸キャンパスの二つのキャンパスを持つ大学となり、35年ぶりに本部が名古屋に戻ることになります。これに伴い、経済学部、商学部、外語語学部の3学部は名古屋キャンパスを基点に、また、人間健康学部は瀬戸キャンパスで授業が展開されます。名古屋キャンパスには体育館およびチャペルやテニスコート等を備えています。また、野球場やサッカー場等の大型運動施設は瀬戸キャンパス施設を利用することになります。



ここで、もう少し詳しく二つのキャンパスを使って2007年度以降に授業やクラブ活動がどのようになされるかについて説明いたします。クラブ活動の中で、硬式野球部、準硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、馬術部、アメリカンフットボール部の各クラブの練習施設は屋外大型施設であり、瀬戸キャンパスにあるような代替施設を名古屋キャンパス近隣で借用するのは困難です。またこれらのクラブは、練習も平日（早朝・日中・夜間）に行われることから、2006年度時点でこの6つのクラブに所属する学生諸君は授業およびクラブ練習ともに瀬戸キャンパスで行うこととなります。一方、経済学部、商学部、外国語学部の学生で、6クラブ以外のクラブに所属するクラブ学生およびクラブに所属していない一般学生諸君の授業は名古屋キャンパスで行われます。しかし、前に示した6クラブ以外のクラブの練習施設は名古屋キャンパスとともに瀬戸キャンパスにもありますので、週末等に瀬戸キャンパスで練習することは自由でできます。人間健康学部の学生諸君は、授業が瀬戸キャンパスのみなので、クラブ練習も瀬戸キャンパス中心に行われますが、当然のことながら、クラブ全体の活動として名古屋キャンパスを利用することもあります。

ここで、もう少し詳しく二つのキャンパスを使って2007年度以降に授業やクラブ活動がどのようになされるかについて説明いたします。クラブ活動の中で、硬式野球部、準硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、馬術部、アメリカンフットボール部の各クラブの練習施設は屋外大型施設であり、瀬戸キャンパスにあるような代替施設を名古屋キャンパス近隣で借用するのは困難です。またこれらのクラブは、練習も平日（早朝・日中・夜間）に行われることから、2006年度時点でこの6つのクラブに所属する学生諸君は授業およびクラブ練習ともに瀬戸キャンパスで行うこととなります。一方、経済学部、商学部、外国語学部の学生で、

ほぼ決まっているのはスポーツ推薦学生とAO入試等の入試で合格し入学後のクラブ加入が明確になっている学生だけです。その中で瀬戸の大型施設を利用する6クラブ所属予定の経済・商両学部学生は瀬戸キャンパスで授業を受けることとなります。入学後にこれらのクラブに加入する学生は、クラブ練習は瀬戸で行われますが、授業は名古屋キャンパスで1年間は受けることになり、キャンパス変更は次年度初めにしか行えないことを原則とします。

これからも本学の教育に対し深いご理解をいただきますようお願いいたします。

白鳥・日比野学舎周辺マップ

名古屋キャンパスの周辺環境には、さまざまな観光名所がいっぱいです。ここでは代表的なスポットを掲載します。同窓生の皆さん、是非一度ぐるりと巡ってみたいいかがですか？



名古屋キャンパス 概要報告

工事進捗状況

名古屋キャンパス(白鳥学舎・日比野学舎)新築工事は、本年12月完成、来年4月開設を目指し、順調に工事が進んでいます。今回は、4月末現在の工事の進捗について、航空写真を参考に説明いたします。

白鳥学舎

総合校舎棟(8階建)は、8階部分まで鉄骨建方工事が完了し、屋上部分の鉄骨工事に掛かっています。屋上については既に床鋼製型枠が貼られ、5月中旬にはコンクリート打設の予定です。建物の外周には工事足場の設置や防音ネットが張り巡らされ、外部からは見えにくくなっています。

内部工事については、2階までの壁設置や、電気・空調設備などの工事が進んでいます。また、1階から8階までの階段が設置されているため、屋上まで容易に上がることができ、上部階からは素晴らしい景色を見ることができ、北側にある名古屋国際会議場の口の字型の建物の中に名古屋ツインタワーを望むことができ(左上写真参照)、東側からは熱田神宮の豊かな森が眼下に広がり、都会と自然が調和されていることを実感できます。開学後の学生たちの喜ぶ顔がとて楽しみます。

総合校舎棟に接続している学術情報センター・レストラン(4階建)については、1階床のコンクリート打設が終わり、3階床部分までの鉄骨が設置されました。

また、体育館棟については、1階床の半分のコンクリート打設が終わり、外部足場の設置が始まっています。



▲白鳥学舎工事

チャペルとクラブハウス(2007年1月末完成予定)

チャペルは、白鳥学舎敷地の北西角に位置し、地下鉄日比野駅から進んでくると教室棟とともにチャペルのカリン(鐘塔が目飛び込んでくる設計になっています。外観は瀬戸キャンパスのチャペルを小さくしたような大屋根とカリンとレンガタイルの壁面が特徴です。



▲白鳥学舎チャペル



▲チャペル内部

■建物概要：鉄筋コンクリート造(地上1階)、建築・延床面積330㎡。

チャペルは、132人収容できる礼拝堂と、管理棟(事務室・会議室・トイレ)からなります。礼拝堂は、玄関・ホールから入り、礼拝堂の正面には祭壇がありそれは聖壇の中心となっています。礼拝堂は大屋根まで約10mの吹き抜けの大空間となっています。また、建物西側に高さ約16mのカリンがあり、チャペルのイメージを表しています。

クラブハウス

クラブハウスは、チャペルと約10mほど離れて東側に隣接する建物です。外観は教室棟・チャペルと同じレンガタイルの壁面で統一感を持たせています。2階建ての建物が2棟並行に連なり、2棟の間はガラス屋根で覆われ、雨に濡れないで部室に入ることができるのが大きな特徴です。2棟の間には、2階に出入りできる共通の階段があり、その周りは雨を避けることができる学生の憩いの広場となります。



▲クラブハウス

■建物概要：鉄筋コンクリート造(地上2階)、建築面積約500㎡、延床面積約650㎡。

東側のクラブハウスは、音楽練習室2室(1階)・クラブ室12室(1階4室・2階8室)と、クラブ学生が憩えるラウンジとトイレがあります。西側のクラブハウスは、16のクラブ室(1階8室・2階8室)からなります。クラブ室等は冷暖房設備が完備されます。

母校の現況

同窓生の皆さん、いかがお暮らしてでしょうか。大学が大きく変化していることをお知らせいたします。本年、瀬戸に人間健康学部が開設され、数年以内に全学で5千人規模の大学になる目標を立てています。

ご承知のように、名古屋キャンパスは地下鉄日比野駅上の8階の学舎と白鳥の8階学舎が、順調に建設が進み、来年2月中には引越しも完了し、4月から約4千人が新しい学舎で学ぶことができます。ことにになりました。クラブ活動の施設は十分ではありませんが、体育館を中心にそれなりの施設が整備されています。

新しい学舎が完成すれば、二段落ということではなく、今全学を挙げて大学の更なる発展に力を注いでいるところです。また、12月中に白鳥学舎南側の国有地を購入し、その場所に近い将来大学会館を建設し、県内の中堅規模大学としての存在を、質・量の面で示したいと考えています。

今後同窓生の皆様への強力な支援をお願いします。

名古屋学院大学 理事長 伊藤信義



日比野学舎

1棟のみの日比野学舎は、8階建ての建物の3階部分まで鉄骨が建っている状況です。6月には8階までの鉄骨が設置されました。日比野学舎の工事現場は、地下鉄日比野駅からの地下通路工事と、東側を通る高速4号東海線(高速都心環状線(山王JCT)と伊勢湾岸自動車道(東海IC)を結ぶ延長約12kmの道路/平成21年完成目標)工事が同時進行で進んでおり、施工業者が互いに調整しながら大変な工事となっていますが、完成した折には、地下鉄出入口すぐ横に建つ日比野学舎は、まさしく通学に便利な都会型大学といえるでしょう。



▲日比野学舎工事

ご挨拶

爽やかな秋の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、益々お元気で活躍のことと拝察いたします。昨年より、同窓会会報を見やすくする為、オールカラーに変更いたしました。本年度は、同窓会ホームページをリニューアルし、これまで以上のボリュームで新しい情報を伝えていきたいと考えております。

さて、名古屋学院大学は、来年4月から経済学部・商学部・外国語学部の3学部が、名古屋市熱田区の白鳥に設けられた名古屋キャンパスに移転いたします。本年新設された人間健康学部は、瀬戸キャンパスで授業が行われるなど、新たな出発をすることとなりました。同窓生の皆様には、大きく発展する母校を温かく見守っていただければ幸いです。

本年は、大学祭が開催される11月5日(日)、瀬戸キャンパスにおいて同窓生の集い「ホームカミングデー」を開催いたします。楽しい催しをご用意しておりますので、ご友人・ご家族をお誘いの上、是非ご参加いただきたいと思っております。

本年度も同窓会の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

名古屋学院大学 同窓会会長 占部憲一



第15回ホームカミングデーのご案内

■日時 11月5日(日) 午後12時より2時まで

■場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)へチャペル前の建物です



今年は11月5日開催 楽しいアトラクションや豪華景品が当たる大抽選会も!!

第15回を迎えるホームカミングデーを、11月3日(金)から3日間わたって行われる名学大祭に合わせて5日(日)に開催します。

同窓生が年一回一堂に集うこの日を心待ちにされている方もたくさんいらっしゃると思います。今年は、全学部が瀬戸キャンパスに集う最後の年。品野台の懐かしいキャンパスで、親しき仲間と語り合う楽しいひとときを一緒にしませんか。立食パーティー形式ですから、気兼ねなくくつろいだ1日を過ごしていただけることをお約束します。

もちろんご家族同伴の参加も大歓迎です。今年はアトラクションや大抽選会など楽しいイベントも盛り沢山! 小さなお子様がいらっしゃる方も安心して楽しんでいただけると思います。

また一度もホームカミングデーに参加されたことがない方、今年こそ足を運んでみませんか。多くの同窓生の方々のご参加をお待ちしております。

第42回名学大祭「祭・遊・喜」のご案内

期間 11月3日(金)～11月5日(日)

名古屋学院大学同窓生の皆様、今年も名学大祭の季節が近づいてきました。

今回のメインテーマは「祭・遊・喜」。我が後輩諸君が昨年以上の盛り上がりをもよおすと思いで企画したフレッシュな催しがいっぱいです。

「ホームカミングデー」の前後を利用して、皆さん是非懐かしい名学大祭の雰囲気味わってください。



例年の日程と異なりますのでご注意ください。

名古屋学院大学「オープンキャンパス」同時開催

日時 11月5日(日) 午前10時より午後3時まで

(受付開始/午前9時30分)

ホームカミングデー当日は、名古屋学院大学オープンキャンパスが行われます。模擬講義を中心に、入試相談やキャンパスツアー等イベントが多数予定されています。同窓生の皆さんで大学受験を控えたご子弟がいらっしゃる方は、名古屋学院大学の魅力を知っていただく絶好のチャンスです。是非ホームカミングデーの出席かたがた、ご子弟をオープンキャンパスに誘ってみてはいかがでしょうか。

INFORMATION

同窓生のサイバーコミュニティ 同窓会ホームページ 「NGUDO.com」

◎名古屋学院大学同窓会ホームページ
<http://ngudo.com/>

同窓会ホームページ「NGUDO.com」は、開設7年目を迎えます。今や3万人を超える同窓生の皆様に、本ホームページを同窓生交流の場として利用していただくため積極的に運営を行っております。

本会報をお読みの同窓生の皆様、お気軽に同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用ください。ようよろしくお願いいたします。

連絡が取れなくなった同級生や先輩・後輩の消息を知りたい方、クラブ&サークルのOB会を新たに立ち上げたい方、どんどん投稿ページや掲示板をご利用ください。

また、同窓生の皆様へ発送した郵便物のうちかなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするために、お知らせの同窓生の消息をご存知の方は本ホームページをお知らせいただき、住所登録・変更ページに情報の書き込みをご案内していただくと幸いです。

同窓会への要望・質問はもちろん、あなたの貴重なご意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「NGUDO.com」を是非ご利用ください。

主なコンテンツ

CONTENTS



●ホーム



●トップページ



●住所登録・変更ページ



●リンクページ



●投稿ページ



●掲示板

インフォメーション

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。
「NGUDO.com」同様、お気軽にご投稿ください。

アメリカン フットボール部 OB&OG会



1966年創部、アメリカンフットボール部の40周年記念行事が、去る8月12日(土)猛暑の中、OB&OG約40名、学生30名を集め、大学内において行われました。

午前11時より第1グラウンドにて、OB对学生によりゲームが行われ、6対12で学生の勝利。午後は思星館(学食)にて記念パーティーを行い、参加者全員に記念誌と記念ストラップが配られました。

OB&OGの数は232名登録されており、住所の把握も90%を超えています。今回、大学内にて記念行事を計画したのは、2007年に大学本部が名古屋に居るためです。温故知新、原点回帰の精神からです。

名古屋学院大学アメリカンフットボール部OB&OG会

副会長 稲垣 守

軽音楽部OB会

OB各位は各方面で活躍されていることと思います。今年も11月19日(日)15時より親睦会を開催すべく準備を進めてまいりましたが、周知徹底ができない所もあり、この紙面をお借りして告知させていただきました。開催場所など詳細のお問い合わせは、メール:keion@ngudo.comまで、遠慮なくいただけたらと思います。

名古屋学院大学軽音楽部在籍者親睦会

会長 山田秀樹

CLUB & CIRCLE OB&OG, SEMINAR REPORT

クラブ&サークル、ゼミナール短信

剣道部OB会

剣道部OB会では、今年も11月5日(日)に大学で開催される「ホームカミングデー」において、OBの集いを行いたいと思います。大学祭開催期間中でもありますので、多数のOBの参加をお待ちしております。

また、12月10日(日)には「東海学連学友剣道大会(OB大会)」が開催されます。本年も我が剣道部OB会から1チーム以上の参加を予定しています。各地で活躍のOBの方の情報や現役選手の情報(昇段、大会結果など)を同窓会ホームページ内の剣道部掲示板に随時掲載していきたいと思っております。情報をお持ちのOBの方は、役員までご連絡ください。また、個人での書き込みもできますので、あわせてお待ちしております。

名古屋学院大学剣道部OB会 会長 岡田正直

ゴルフ部OB会

ゴルフ部OB親睦会を去る5月21日(日)、品野台カントリークラブにおいて開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、楽しいひとときを過ごすことができました。今回で8回目となる親睦会には顧問の亀井先生、田内会長(70年卒)を囲み、卒業生と合わせ22名の皆様に参加いただきました。プレー後の懇親会では、亀井先生より現在のゴルフ部の活動状況や大学の情報などを知ることができました。

今後のゴルフ部OB会親睦会につきましては、皆様のご理解とご協力を賜り、毎年1回の開催を予定しております。

陸上競技部OB会立ち上げ

昭和39年4月の名古屋学院大学開学後、間もなく我々名古屋学院大学陸上競技部は、最初の体育会系のクラブとして発足いたしました。ある機会に、現在のクラブの部長を務めていらっしゃる小谷先生と連絡が取れ、最近の陸上競技部活動状況などを教えていただくことができました。強い弱いに関係なく、今日まで脈々とクラブ活動をして来てくれた後輩達が大勢いることを肌で感じた時、「これは何とか我々陸上競技部のOB会を創らねば…」と使命感に駆られました。

早速3期の卒業生に声をかけたところ、昨年の11月12日に名古屋の中日ビルにて、私を含め7名が30数年振り集まることができました。思い出話や近況の報告に花が咲きましたが、最後に「OB会を創ろう!!」と心を一つにした次第です。(写真がその時のメンバーです。)

幸いにして、名古屋学院大学同窓会、部長の小谷先生そして現役の藤田マネージャー、亀山キャプテンの方々が非常に理解を示していただき、また多大なご支援も賜りまして、牛歩ながら陸上競技部OB会設立に一歩二歩進んでまいりました。非常に嬉しいことであります。

私は、名古屋学院大学陸上競技部で育んだ友情を絆として、卒業後も仲間達との付き合いができ、お互いに

定しておりますので、皆様の参加をお待ちいたしております。

ゴルフ部のOBも300名を超え、大学の歴史と共にゴルフ部の伝統を感じるようになりました。この中からは、多くのプロゴルファーが誕生し、中部アマチュアゴルフ界でも大勢の方々が活躍されております。

最後に、現役のゴルフ部の皆様には今後ますますのご活躍を期待しております。

名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会
事務局 須崎英晴



名古屋学院大学陸上競技部OB会

設立準備委員
代表

岩田宜清(68年卒)
住所 滋賀県大津市錦織三丁目8-20
TEL 077-527-5325

設立準備委員
OB会名簿担当

榎原康則(71年卒)
住所 愛知県半田市住吉町四丁目3-20
TEL 0569-21-8155

名古屋学院大学陸上競技部OB会
設立準備委員代表 岩田宜清



Profile

須崎英晴 (78年卒)

1979年 3月 経済学部 経済学科卒業
ゴルフ部在籍
1981年 6月 品野台カントリークラブ入社
1999年 10月 同クラブ支配人 就任
現在に至る

品野台カントリークラブは、名古屋学院大学瀬戸キャンパスに隣接する丘陵地に、今から37年前の昭和44年10月、瀬戸で唯一の18ホールのチャンピオンコースとして誕生いたしました。

お陰をもちまして、現在では中部地方で屈指の伝統あるゴルフ場として多くのゴルフ愛好家の皆様にご愛顧を賜っております。

我が母校も、この絶好の機会を生かし、開場にあわせてゴルフ部が創部され、以来ゴルフ部OBも3000名を超え、大学の歴史と共に育まれてきたゴルフ部の伝統が感じられます。

最近では、大学の授業の体育で選択科目の一つとしてゴルフがあり、一般の学生の皆さんも先生方の指導の下、手軽にゴルフを体験してもらえよう、夏休みを利用してコースラウンドが実践できるようになっております。

又、本年度より大学では、エクゼクティブコースが新設され話題を呼んでいます。その中でゴルフの実習は必須科目となっており、ゴルフ業界においても大きな関心を持つて注目されております。

これまでの長い歴史の中で、大学関係者のご理解とご協力を賜って参りましたことを感謝しつつ、当ゴルフ場としましても、これまで同様、今後もできる限りのご協力をさせていただきます。と思っております。

当ゴルフ場は、私を含め3名の従業員が本学の卒業生です。若手の2名はそれぞれサービスマスの第一線で活躍しております。

特にお客様からの人気も高く、2人の笑顔に惹かれてこ来場されるお客様も大勢いらっしゃいます。

ゴルフ業界もまだまだ厳しい環境ですが、若手の活躍に刺激を受け、私自身初心に戻って、決意を新たに頑張りたいと思っております。

須崎英晴

O's NOW

活躍する同窓生 職場紹介



37年の歴史と 伝統あるゴルフ場で 活躍する3人の同窓生



Profile

浅見宏之 (93年卒)

1994年 3月 経済学部 経済学科卒業
ゴルフ部在籍
同年 4月 品野台カントリークラブ入社
現在に至る

名古屋学院高等学校でゴルフ部に在籍していた私は、ゴルフ部恩師の薦めもあり卒業後、当時大学ゴルフ部リーグ1部校の名古屋学院大学へ進学を希望して入籍しました。

入学後は、念願の体育会ゴルフ部に入学し、同期の



品野台カントリークラブ

History

1968年 8月 仮開場

1969年10月 本開場

コース設計/長谷川武治
18H 6847Y Par72

2003年 5月
コースレート 72.5 JGA認定



仲間や先輩、後輩、恩師との出会いを通じて貴重な体験をすることができました。それまでの管理教育制度から自己管理生活の大学生活は自主性が養われ、とても有意義な学生生活を送ることができたと思えます。

卒業後の進路について恩師のゴルフ部顧問亀井教授に相談したところ、品野台カントリークラブを紹介していただきました。ゴルフ場には高校のゴルフ部からお世話になっており、大学在学中には毎週のラウンド練習やキャディのアルバイトをさせていただきました。ゴルフ場の職員の方々やお客様に可愛いがられゴルフ場への愛着もあり就職を決めました。

現在は営業課に所属し、毎日サービスマスの奥深さを勉強させていただいております。

浅見宏之



Profile

倉知尚子 (01年卒)

2002年 3月 外国語学部 英米学科卒業
2004年 8月 品野台カントリークラブ入社
現在に至る

品野台カントリークラブのフロントに勤務して早2年。ここでは、お客様の一日の最初と最後に出会う大切な部署です。メンバー様、ビジター様共に名古屋学院大学の卒業生や恩師の方々も多く、母校とのつながりの深い職場です。

この私の職場は、大自然に囲まれた瀬戸の丘にあり、一歩ゲートをくぐると山の色合いや芝生から立ち上る匂いによつて季節の移り変わりを感ずることが出来ます。少し中に入れば木の実や草花、リスや昆虫、鳥たちがお客様の目を楽しませてくれます。また、おだやかな風も温かく迎えてくれます。

ゴルフをされるお客様の目的はそれぞれで、ご夫婦そろって健康のため、また気の合う仲間とワイワイと、記録を塗り替えていく本格派と様々で、ここにいればいろいろな人との出会いがあります。

私自身も大学卒業後にユージーランドへ1年留学し、そこでゴルフデビューを果たし、それ以来熱中していることもあり、純粋に楽しく過ごさせていただいております。

これからもお客様の生の声に、どんな些細な事にも耳を傾けていきたいと思っております。お客様と一緒に過ごす時間を嬉しく思い、職場の仲間と共に日々歩んでいきます。

倉知尚子

活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報「NGUDO.com」では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、投稿ページをご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
☎ 052-242-6444
FAX 052-242-6455
同窓会ホームページ
<http://ngudo.com>

2006年度名古屋学院大学

インターンシップ受け入れのお願い



学習意欲あふれる後輩の
インターンシップ受け入れを！

学生が在学中に企業等において就学体験を行うインターンシップに対する学生及び社会の関心が高まる中、各大学の支援体制や地域の推進活動も充実してきています。また、昨今の経済・社会環境の劇的な変化に伴う変革期に、インターンシップを活用した積極性・創造性豊かな人材が活躍する社会・時代を作り上げるよう、産学官協同の重要性が改めて叫ばれています。

本学でも、インターンシップは学生のキャリア形成において重要な位置を占めており、経済学部・商学部は1年生～4年生、外国語学部は2年生～4年生までの学生に対してインターンシップ修了者に単位認定を行っています。学生の関心は年々高まり、今年度の夏季インターンシップには150名以上の申し込みがありました。

今後も意欲のある学生がインターンシップに参加してくれるよう、大学としても体制を強化していきたいと考えています。そのためには、今以上に学生を引き受けていただく企業を増やしていく必要があります、同窓生の皆

様には是非とも本主旨にご理解をいただきたくお願い申し上げます。

インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに応える教育の改革を視野に入れたインターンシップは、今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

インターンシップのメリット

企業のPR効果
参加学生による口コミ、就職課による学生への宣伝、告知力があります。
優秀な人材の確保
学生の資質や特徴を見極める方法や基準作りの参考になります。
職場の活性化
若手社員の研修としての位置付け、学生による業務改善点の指摘などが見込めます。

大学とのコミュニケーションの構築

大学・学生への企業認知度の向上は、採用活動にも有益となります。

2006年度名古屋学院大学 インターンシップ(春季)概要について

期間 春季/2007年2月上旬～2月下旬
実習 上記期間中の2週間(実動10日間)
待遇 「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。

保険 インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

募集学年・学部 全学年・全学部の学生を対象としています。
募集方法 本学キャリアセンターが、受入企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先名や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「企業実習参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。

学生の選考 希望実習先ごとに、本学教員が面談・選考いたします。

誓約書 実習期間に知り得た機密および個人情報の守秘義務を守るため、インターンシップ生には誓約書を提出させます。

覚書の締結 企業・団体様と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。

インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。

名古屋学院大学 キャリアセンター
インターンシップ担当 杉山晃一、遠藤あおい
TEL 0561-42-0340 E-mail sugiyama@ngu.ac.jp

★参照サイト「インタ ンシップ推進協議会」
http://www.internship-ssc.org
※情報量が多く、実施にあたり大変参考になりますので、是非ご覧ください。

インターンシップ(夏季) 体験レポート



シンカイ コユキ
新海幸輝さん
(経済学部経済学科3年)

聞き手 田口幹夫
名古屋学院大学同窓会 理事 広報委員会委員長
参加者 新海幸輝
名古屋学院大学経済学部経済学科3年
永柳 宏
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 研究開発第2部
都市・地域貢献グループ長 主任研究員
津田あゆみ
同上 都市・地域貢献グループ研究員



留学生インターンシップの普及調査などを依頼されており、新海さんが留学生ということが一つのポイントです。もちろん、大学で学んでいる内容が弊社の業務とつながりを持つ点もありました。

どのような業務を依頼されていますか。
津田研究員(以下津田) 大学で統計を勉強されている点と、中国出身を考えて、中国に関する統計などに取り組んでもらっています。

永柳 また大きな案件としては、経済成長著しい「インドと中国の投資環境の比較」に関して、統計的な見地からサポートをしています。

新海さんにとって、今回のインターンシップ参加はどんな成果がありましたか。
新海さん(以下新海) まず、大学で勉強した知識を実際に企業で活かせるかどうか体験できたことがうれしかったです。また、今は「留学生だから」と大目に見ていただいている事も多いと思いますので、自分に甘えず、社会に出たら日本人と同じレベルの知識を身に付けていかないといけないと再認識できたことが成果だと思います。インターンシップに参加する前は、日本の企業に対して堅いイメージがありました。が、みなさんに優しく教えていただき、とても柔らかいイメージに変わりました。

津田 指導する側の私たちも、新海さんと話す中でいろいろ気付かされる事が多かったという意味でも成果はあったと思います。
最後に、新海さんが一番印象に残った事を教えてください。
新海 社会に出て仕事に携わるというのは、人と人との付き合いが大切なんだと気付けた事です。個人の能力や技術があっても、1人でやれる事は限られます。チームの力が大切なんだとよくわかりました。ありがとございました。

永柳 弊社は経済産業省より
今年、中国からの留学生 新海さんを受け入れたポイントは何でしょうか。



名古屋学院大学の2006年度夏季のインターンシップに参加申し込みをした学生は150名以上。また受け入れ企業も年々増え、インターンシップに対する理解が深まっています。
今回の体験レポートは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングのシンクタンク「三菱UFJリサーチ&コンサルティング」でのインターンシップに参加した中国からの留学生 新海幸輝さんを交えて座談会形式で話を聞くことができました。
まず初めに、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの事業内容を教えてください。
永柳グループ長(以下永柳) 三菱UFJフィナンシャルグループのシンクタンクです。全国で総勢700名程の体制で、官民および国内外を問わず様々なリサーチ及びコンサルティング業務を主にしています。

企業経営の後継者を育成

名古屋学院大学商学部(岡田千尋学部長)では、2006年度4月から経営者および企業経営の後継者を育成するため、商学部商学科にエグゼクティブコース(以下「E.x」という)を開設しました。

この「E.x」は商学部の4年間と大学院2年間の6年間でそれぞれ専門科目を受講しながら、経営者として求められる多彩な分野の知識・技術を身につける特別コースで、最終的にM.B.A.(経営学修士)の取得をめざすものです。プログラムの主な特徴は以下のとおりです。

①学部・大学院の一貫教育でM.B.A.取得をめざす。

商学部商学科で学部学科の専門科目の履修とともに、中部財界で活躍している先輩経営者によるリレー講義「企業経営特別講義」、地元などで活躍するキーマン政治家による「政界特別講義」など実践的な講義を受講することによって、将来必要とされる経営感覚を磨く準備を行います。さらに本学大学院経営政策専攻に進学して企業経営者に必要とされる経営理論や各種手法・技法を学びM.B.A.を取得(必修)します。また、実社会で活躍する社会人院生と異業種交流を行うことにより、人脈形成することもできます。なお、学部4年からM.B.A.プログラムを履修することによって、最

商学部がエグゼクティブコースを開設

短5年(大学院1年で修了)で修了することもできます。

②ゴルフ・乗馬は必修

企業経営者として幅広い教養を高めます

企業経営者として取引上の付き合いや人脈形成でさまざまな教養的センスが求められます。「E.x」では、こうしたセンスに磨きをかけるため、多くの教養的科目を開設しています。

●ゴルフ、乗馬(必修)

●ハリウッドやセブンのスカイスポーツ、ヨット、クルーザーなどのマリンスポーツの免許資格を単位認定します。このほか能、茶道、陶芸など企業人としての教養を深めます。

③英語圏、中国語圏、韓国語の3地域の留学が必修

グローバル時代の経営者は国際政治・経済・文化の分野でもその見識を求められます。「E.x」では、これまで本学が培ってきた国際交流の実績を基盤に3つの語学圏への留学を必修としています。留学提携大学は、1年次韓国、2年次(英語圏)、3年次(中国語圏)の有名大学に3年間にわたって毎年8週間の留学をします。

エグゼクティブコース入試要項	
商学部商学科	
入学定員	入試日程
10名	商学部入試と同じ
入学試験	
詳細は入学センターにお問合せください 0561-42-0339	

人間健康学部開設

人間健康学科 リハビリテーション学科

2007年4月から健康な社会づくりを支え導くことのできる専門家を育てることを目的とする新学部「人間健康学部」が瀬戸キャンパスに開設されました。

キリスト教主義に基づく人間教育によりケア精神を育み、「こころの健康」「からだの健康」「社会が支える健康」からなる人間の健康の総合的な理解をめざしています。さらに心理的手法、健康づくり、社会福祉を取り巻く環境、リハビリテーションなど、幅広い分野において、人間の健康に関わる専門知識と技能を習得します。

健康な社会をつくるリーダーをめざして選べる2学科制

人間健康学科
本学科は人間心理コース、健康スポーツコース、福祉社

会コースの3コース。こころをケアする「人間心理」、からだを健康に保ち増進する「健康スポーツ」、社会福祉や地域社会によって人間の健康な生活を支援する「社会が支える健康」という側面から人間の健康を学びます。同時に、リハビリテーション学科を併設するメリットを活かし、医療福祉論、リハビリテーション概論などの科目も履修できます。

リハビリテーション学科
最先端の技能、知識を身につけ、障害の評価、機能回復、介護予防等の基礎から実践まで学びます。本専攻では、理学療法に関する高度な専門知識を有し、理学療法士として医療・保健・福祉の分野で社会貢献できる人材を育成します。

中国コミュニケーション学科誕生

中国語コース 中国アジアビジネスコース
実用中国語を学ぶ、あるいは中国ビジネスを習得する2つの選択肢から選べるコース制

2007年4月から外国語学部の中国語学科を「中国コミュニケーション学科」と名称変更し、内容をさらに充実させリニューアルします。

2008年北京オリンピック、2010年上海万博を控える中国は今世界から最も注目を集める国です。華やかな国際イベント開催を支えるのは好況な経済成長で、外資導入と輸出拡大で大幅な貿易黒字を記録し、アジア経済の中心となつています。中国語を使用する人口は世界の4分の1を占め、今や英語に次ぐ世界共通語、アジアを舞台に活躍するためにはならない語学です。しかし、単に中国語を学ぶだけでは国際人として十分とは言えません。

そこで語学を前提に政治・経済・国際関係など、中国と上手に付き合うために総合的な視点で捉えようとする気運が高まってきました。高度で幅のあるコミュニケーション能力を身につけ、現在の中国を総合的に理解し、アジア全体を視野に活躍できる人材育成が、早急に求められています。

大学院が経営政策専攻、中国語学専攻をリニューアル

経営政策専攻 ソリニーションコースを開設

従来、勤務されている社会人を対象とした「M.B.A.コース」をより実態に則したカリキュラム「ソリニーションコース」に変更します。新しいコンセプトは「産学連携による名古屋経済の発展と中堅企業・地域産業のソリニーションアドバイザーとしての役割を担う社会人を養成する」。

入学者は各職場の状況に応じて、アグリビジネス、マーケティング、財務体質改善、生産性向上、経営複合の課題研究から選択し、最短1年で修了可能なプログラムを受講し、地域社会に貢献できる次世代リーダーを養成します。

高等専門教育コース(論文コース)に名称変更

学部出身者・税理士をめざす方などが対象だった論文コースも、選択分野を明確にしたカリキュラムに変更

名古屋学院大学は、この世界的な胎動に対応すべく、名古屋キャンパスへの外国語学部移転を機に、「中国コミュニケーション学科」を開設する訳です。ここの「コミュニケーション」という言葉は、一般にイメージされる「言葉による伝達」のみを指すのではなく、言葉のみなならず、人、国、および文化面での交流、物資の流れ(物流)を含む幅広い意味を持ち、また同時に「中国」を積極的に学べる内容へと方向性をシフトを示しています。

この背景には中国語のみでなく、中国の経済発展に着目する学生が増えてきたことがあります。中国と相互理解を深めるためには、中国の広範な知識を土台に、中国の人たちと付き合っていく能力が必要です。そのため、語学だけでなくビジネス、社会、経済、文化など中国を総合的に学べる内容へと方向性をシフトしました。

税理士をめざす社会人にとって最適なプログラム編成となっています。

外国語学専攻 中国語学専攻

2007年度より中国語学専攻は、設置10周年、学部においては「中国コミュニケーション学科」への移行にともない、カリキュラムを大幅改定します。より実践的な科目編成となり、実社会において十分通用する語学力、中国理解力を養うことに主眼をおきます。

卒業生で再び中国語を勉強したい方にも、平日夜間の講義が中心ですので、十分対応できるプログラムとなっています。

お問い合わせは
大学院事務室
(平日:午前9時15分~午後5時)
TEL 0561-42-0346
FAX 0561-42-0324
URL <http://www.ngu.jp/graduate>
e-mail ngugs@ngu.ac.jp

平成18年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GPP)に本学の「ITによる経済学部教育の標準化と質保証」が選ばれる栄誉に輝きました

「特色ある大学教育支援プログラム(特色GPP)」とは、文部科学省が平成15年度から始めた、大学教育の改善に資する種々の取組のうち特色ある優れたものを選定するものです。

選定された事例は広く社会に情報提供されるとともに、他大学の取組の参考にもなることから、高等教育の活性化が促進されることを目的としています。

取組概要

●本学では、2002年からCampus Communication System(以下CCS)を導入し、学生・教員・職員との3者を情報ネットワークで結んだ教育支援を展開しています。
●CCSには学生個人のポータルサイトが構築され、オンライン手法を用いた「自学自習システム」が導入されています。

自己推薦AO入試における同窓会長推薦区分の設定について

自己推薦AO入試が9月以降に実施されますが、その中に同窓生子弟を対象とした同窓会長推薦による受験区分を設けます。自己推薦AO入試で受験をお考えの同窓生子弟は、同窓会事務局に推薦書発行についてお問い合わせください。

自己推薦AO入試は、学科試験等は実施せず、その代わり2回の事前面談を通し、学習意欲や目的意識の高い人材を求める入試です。事前面談では、大学入学後の目標確認や基礎学力・コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力・自己表現力などを計ります。エントリー方法は、左記期間中にエントリー用紙調査書(高校卒業・卒業見込者のみ)および同窓会長推薦書を併せてご提出ください。

◆自己推薦AO入試エントリー期間

第1期 9月21日(木)～10月5日(木)
第2期 11月27日(月)～12月15日(金)

大学案内・入学願書等の請求、入試要項に関する詳細(質問等)ございましたら、入学センター(0561-4210339)までお問い合わせください。

●「経済学基礎知識1000題」は、本システムに組み込んだ経済学関連の設問群であり、経済学部カリキュラムと連動し、専門科目を担当する全教員によつて構築されています。

成果

自学自習システムでは択一式設問とその解説を用意することで、いつでもどこでも繰り返し予習復習や勉強ができるようになりました。また、自学自習システムを利用した個々の学生データは学習履歴としてデータベースに蓄積されるため、教員はこれを参照してよりきめの細かい個別指導が可能となりました。

本システムを導入することで、学生の学力と学習意欲が向上し、教育の改善が進みました。

大学ランキングで堂々のランキング

本学は、新聞および情報誌が調査した大学ランキングにおいて、様々な項目でランキングしました。

◆朝日新聞社「大学ランキング2007」

学生食堂 学生からの評価 全国1位

学内には2つの食堂があり、ボリューム、味、値段、栄養などを考慮し、多様なメニューを用意。学生の皆さんに満足してもらえよう工夫しています。

海外留学制度 留学生派遣16単位取得 74名 全国12位

留学協定大学は世界に62。留学情報、アドバイスなどNGU国際交流センターが強力にサポート。

※このランキングの他に、本学での長期・中期・短期を合わせた海外協定校への派遣学生総数は176名です。

AO入試 入学者(2005年度) 265名 全国15位

本学では体験入学AO入試、自己推薦AO入試の2タイプを行い、3日間の体験入学や教員との対話でキャンパスの雰囲気や授業を経験。NGUをより深く感じてもらうことができます。

◆「日経グローバル」2006.6.5号

大学の地域貢献度ランキング ランク1位

総合上位ランキング 私立上位ランキング中部地区第2位
ボランティア活動、地域連携組織の拡充など、地域貢献への取り組みを高く評価。総合上位ランキング中部地区第2位(全国第33位)、私立上位ランキング中部地区第2位(全国第9位)にランキングしました。

2006年度入試結果と2007年度入試について

本学の2006年度入試志願者数は、昨年度比、190名増の3,944名(2005年度2,754名)でした。志願者が増えたことで、一般前期入試の競争倍率は、商学科3.9倍(昨年1.7倍)、英米語学科4.3倍(同2.5倍)と昨年に比べ大幅に高くなり、新設の人間健康学部も人間健康学科2.4倍リハビリテーション学科に至っては10.3倍の高倍率となりました。

18歳人口が減少し、中部地区の大学が軒並み志願者を減らす中でこの結果となったことは非常に心強いことです。志願者増となった理由としては、この4月に「人間健康学部/人間健康学科・リハビリテーション学科」が新設されたことや名古屋キャンパス開設を来年に控え、その移転効果によるところもありますが、何より、本学の伝統、充実した国際交流(留学制度)、徹底した情報教育や最先端のIT環境、就職実績等が高く評価されているからだと考えられます。

2007年度入試は、7月の編入学試験から既にスタートしており、8月の体験入学AO入試では過去最高の402名が申し込みをしました。ここ数年続いてい

る強いトレンドを示す幸先の良いスタートを切る事が出来ました。今後別表の日程で推薦入試、一般入試等が実施されますが、ご子弟の実力が十分発揮できる入試区分で積極的に受験していただければと思います。

なお、より多くの優秀な志願者を幅広く獲得するため、2007年度入試において左記のとおり入試会場等の変更をします。

- ①一般入試名古屋試験会場の変更：名古屋高校↓名古屋キャンパス
- ②一般前期入試地方会場の変更：岡崎、高松会場を廃止し、新たに豊橋・広島会場を設定
- ③人間健康学部 大学入試センター試験利用入試を導入
- ④一般後期入試 繰上げ合格制度を導入

学生募集においては、本学の伝統や教育内容をご理解され、本学の良さを十分に認識されている同窓生の方々の協力が必要となります。入学センターでは、本学PRのための大学案内・入試要項等を作成しておりますので、子弟の入試その他配布等でご入用の際は、入学センターまでご連絡ください。

2006年度入試結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済	経済	928 (61)	901 (58)	553 (43)	295 (22)
	政策	234 (22)	225 (22)	211 (22)	139 (9)
商	商	619 (88)	597 (85)	296 (52)	188 (28)
	情報BC	228 (55)	220 (50)	177 (46)	121 (29)
外国語	英米語	603 (296)	594 (293)	226 (128)	128 (70)
	中国語	97 (47)	96 (46)	98 (45)	38 (17)
	国際文化協力	136 (72)	131 (70)	128 (69)	49 (22)
人間健康	人間健康	262 (58)	258 (56)	172 (46)	118 (27)
	リハビリ	837 (175)	814 (171)	139 (42)	86 (24)
総合計		3,944 (874)	3,836 (851)	2,000 (493)	1,162 (248)

※()内は女子。 ※合格者数には、第2・第3志望合格者を含む。

2007年度入試日程(10月以降に実施されるもの) 学部

試験日	試験区分
10月14日(土)	体験入学AO入試本面接試験 特別試験前期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 一般推薦試験 スポーツ推薦試験(前期)
11月11日(土)	指定校推薦試験 一般推薦試験
11月12日(日)	自己推薦AO入試本面接試験(第1期)
12月2日(土)	自己推薦AO入試本面接試験(第2期)
1月31日(水)	スポーツ推薦試験(後期A日程) 特別試験後期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験後期
2月1日(木)	一般入試(前期1日目)
2月2日(金)	一般入試(前期2日目)
2月3日(土)	一般入試(前期3日目)
2月27日(火)	一般入試(後期A日程)
3月10日(土)	一般入試(後期B日程) スポーツ推薦試験(後期B日程)

※出願・エントリー期間等の詳細については、入学センターにお問い合わせください。

大学院

試験日	試験区分
10月22日(日)	英語学専攻 (修士課程:通信制Ⅰ期)
2月4日(日)	経済学専攻 (修士課程Ⅱ期) 英語学専攻 (修士課程Ⅱ期) 英語学専攻 (修士課程Ⅱ期) 中国語学専攻 (修士課程Ⅱ期)
2月10日(土)	経営政策専攻 (博士前期課程Ⅱ期)
2月11日(日)	英語学専攻 (修士課程:通信制Ⅱ期) 経営政策専攻 (博士後期課程)

(注)通信制の試験については、「書類選考のみ」

「名古屋キャンパスチャペル建設資金」募金のお願い

本学は2007年4月に名古屋キャンパスを開設しますが、キャンパス内にはチャペルを建設することとしています。

チャペル建設資金については、同窓生をはじめとして本学にかかわりのある各位に募金をお願いして、その寄付金でまかなうこととさせていただきます。

つきましては、「名古屋キャンパスチャペル建設資金」募金について、ご協力をたまりたくお願いするものです。

なお、この募金は任意でお願いするものです。募金の詳細は名古屋学院大学財務課募金係までお問い合わせください。

◎名古屋学院大学財務課募金係 TEL 0561-42-0336



同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されており、最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすこと致しましたので宜しくお願い致します。

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要となります。ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。
 ●年会費一口 2,000円
 ●終身会員費 1万円以上
 既に終身会員の方は不要です。

支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部

榊原金市 (70年卒)
 〒125-0035
 東京都葛飾区南水元三丁目4-1-1002
 TEL 03-3600-5726

関西支部

中川博嗣 (68年卒)
 〒544-0025
 大阪市生野区生野東1-1-37
 中川登記測量事務所 内
 TEL 06-712-3574

三重支部

中野隆自 (71年卒)
 〒516 0009
 三重県伊勢市河崎一丁目14 21
 (有)ジャパンネットワークピア 内
 TEL 0596 28 8186

中国・四国支部

藤原一致 (71年卒)
 〒712-8003
 岡山県倉敷市水島明神町2-46
 (株)アストロ興産 内
 TEL 086-444-5252

支部会開催のお知らせ

中国・四国支部 支部総会及び懇親会

日時/平成18年10月14日(土) 16:00~
 会場/岡山アークホテル
 会費/3,500円(予定)
 問い合わせ先
 中国・四国支部支部長 藤原一致
 TEL 086-444-5252

関東支部 支部総会及び懇親会

日時/平成18年12月2日(土) 12:00~15:00
 会場/東京都内レストラン
 会費/3,000円
 問い合わせ先
 関東支部支部長 榊原金市
 TEL 03-3600-5726

住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不明による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡いただくか、同窓会ホームページの「住所登録・変更ページ」にて変更していただきますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方を存じの場合も、同様にご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
 〒460 0008
 名古屋市中区栄4-1-1
 中日ビル7階
 TEL 052-242-6444
 FAX 052-242-6445
 ※同封の住所・勤務先等変更FAX用紙をご利用ください。
 同窓会ホームページアドレス
<http://ngudo.com>

同窓会員の皆様 ご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。

2006年度 名古屋学院大学同窓会組織名簿

会長	71E 占部憲一	広報副委員長	02E 伊藤頼子	大学協力副委員長	77E 伊藤 暁
副会長	73E 笠井 修(情報担当)	事業委員長	81E 安藤恵二	監 事	71E 長瀬憲八郎
副会長	78E 須崎英晴(事業担当)	事業副委員長	96E 近藤大輔	監 事	75E 岡本孝一
副会長	80E 安藤之人(広報担当)	情報委員長	74E 伊藤嘉彦	顧 問	学長 小嶋 博
事務局長	82E 藪下靖浩(総務担当)	情報副委員長	75E 高津佑輔	顧 問	69E 水谷文穂
総務委員長	74E 小川博司	支部担当委員長	80E 河本浩詞	顧 問	70E 伊藤博義
総務副委員長	82E 渡辺秀一	大学協力委員長	73E 下村直己	顧 問	70E 山本茂一
広報委員長	80E 田口幹夫	大学協力副委員長	70E 塚本 久		